

あってよかった、
出会えてよかった、
と思われる存在でありたい。

どんなに時代が変わろうとも、どんなに時が経とうとも、
お客さま視点に立ったサービスを追求するとともに、
お客さまの人生に寄り添い、
必要とされる価値と、豊かな暮らしを提供します。

第213期営業のご報告
ミニディスクロージャー誌 2024
2023年4月1日▶2024年3月31日

スルガ銀行



ごあいさつ

平素よりスルガ銀行グループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、皆さまのスルガ銀行グループに対するご理解を一層深めていただくため、「ミニディスクロージャー誌2024 第213期営業のご報告」を作成いたしました。

昨年4月にスタートした中期経営計画“Re:Start 2025”第2フェーズは、1年目より計画を上回る進捗となり、本年4月にKPI（主な業績評価指標）を上方修正しました。このKPI修正には4つの要因があります。

1つ目として、株式会社クレディセゾンとの資本業務提携の順調な進捗です。今後は更に取組みを加速し、“Neo Finance Solution Company”というユニークなビジネスモデルの構築に取り組んでいきます。2つ目は、ローン等新規実行額が着実に成長している点です。ソリューション事業、投資用不動産ローン、ストラクチャードファイナンスなど、当社主体のオリジネーション領域では、ローン等新規実行額が前期比42%の成長となりました。3つ目は、さまざまな債権品質向上施策によりローンポートフォリオの良質化が進展したことです。今後も、入居率調査を起点に、お客さまと定期的なコミュニケーションを図り、保有不動産の収支改善

等のご提案に努めていきます。4つ目は、人的資本投資の拡大です。構造改革による経費削減は計画に沿って進めていく一方、当社が更に成長していくためには、人財基盤、人的資本への投資を加速させる必要があると考えています。当社のマテリアリティに掲げる「社員が活躍・成長できる環境の整備」を推進し、「社員が明るいスルガ」を目指します。

また、この好調な業況を踏まえ、ROE目標を新たに掲げました。2026年度以降、平均的に6%以上、長期的には8%以上を目指します。このROE目標を念頭に、中期経営計画に沿って持続可能な収益構造を構築し、株主還元の充実やESG施策等にも積極的に取り組み、PBR 1 倍超の実現に努めます。

このような取組みを通じ、弊社グループ一丸となって地域経済の持続的成長や豊かな社会の実現に向け、お客さまとの信頼関係をより一層深め、ステークホルダーの皆さまから「あってよかった、出会えてよかった」と思われる存在を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、引続きの温かいご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

社長 加藤 広亮
Kosuke Kato

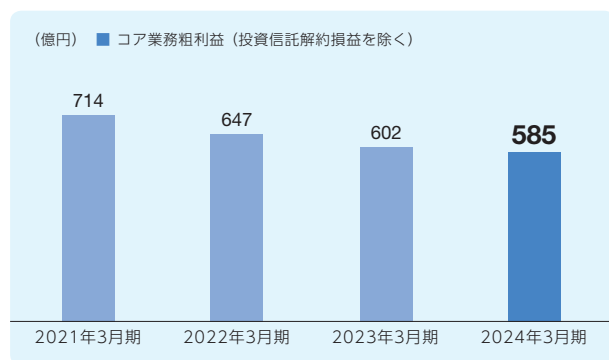


営業の概況 当期の業績につきましては、次のとおりです。

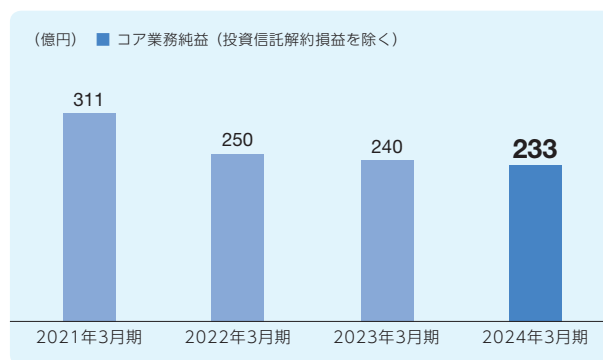
POINT

2023年度の業績は、経常利益が前期比78%増加、当期純利益は前期比57%増加し、連結ROEは5.4%へと前期末比1.5pt上昇しました。このように増益となった要因は、ローン等の新規実行額の増加、コスト構造改革による経費削減、有価証券関係損益の改善等です。この堅調な業績を踏まえ、2023年度の年間配当を前期比12円増配の1株当たり21円としました。また、自己資本比率は14.0%へと上昇しました。

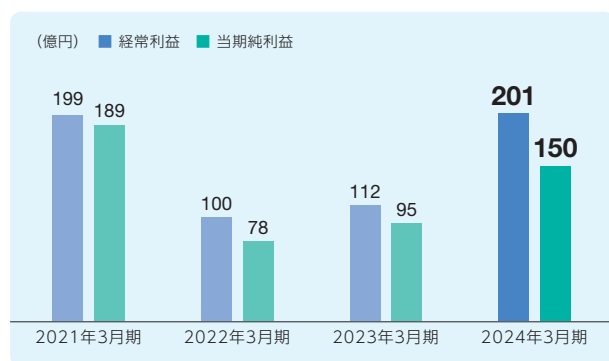
コア業務粗利益^{※1}（投資信託解約損益を除く）



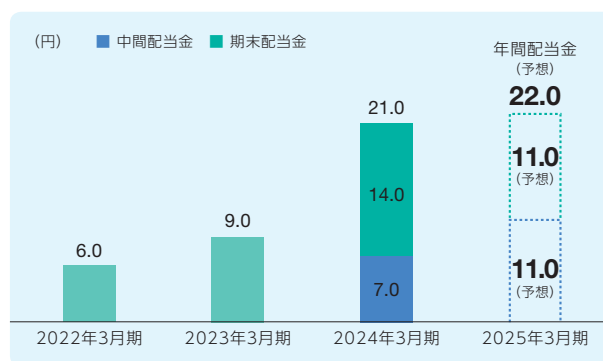
コア業務純益^{※2}（投資信託解約損益を除く）



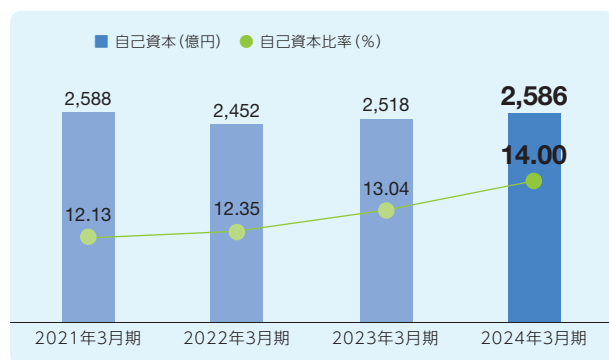
経常利益／当期純利益



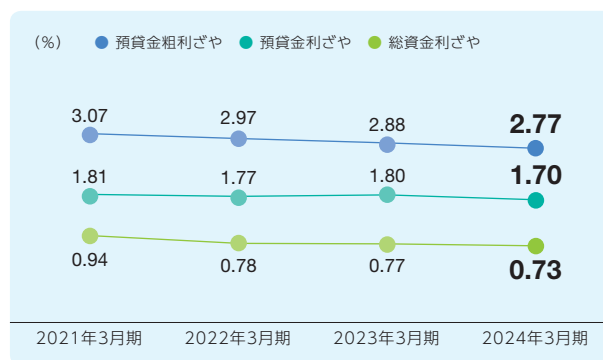
一株当たり年間配当金



自己資本^{※3}／自己資本比率（国内基準）



預貸金粗利ざや／預貸金利ざや／総資金利ざや



※1：コア業務粗利益は、業務粗利益から国債等債券損益の影響を除いたもので、債券売買等の一時的な要因を除いた銀行の本業における粗利益を表しています。

業務粗利益 = 資金利益 + 役務等取引利益 + その他業務利益

コア業務粗利益（投資信託解約損益を除く）= 業務粗利益（投資信託解約損益を除く）- 国債等債券損益

※2：コア業務純益は、コア業務粗利益から経費を除いたもので、銀行の本業における収益力を表しています。

コア業務純益（投資信託解約損益を除く）= コア業務粗利益（投資信託解約損益を除く）- 経費

※3：自己資本は〈コア資本に係る基礎項目〉から〈コア資本に係る調整項目〉を控除して算出してあります。当社の〈コア資本に係る基礎項目〉は資本金、資本剰余金、利益剰余金等と一般

貸倒引当金により構成しております。

自己資本比率 = 自己資本額（コア資本に係る基礎項目 - コア資本に係る調整項目）/ リスクアセット等 × 100

中期経営計画のKPIを修正し、PBR1倍超に向けてROE目標を設定

好調な2023年度の業績を踏まえ、中期経営計画“Re:Start 2025”第2フェーズのKPIの上方修正を行いました。
また、今後さらに強化していく施策として、人的資本投資の拡大とPBR1倍超に向けた取組みを掲げています。

1 中期経営計画のKPI修正

KPI修正に至った4つの要因

1 クレディセゾン提携の順調な進捗

先行する2施策(不動産ファイナンスの共同展開、住宅ローン事業における連携)の順調な進捗により、その他の施策を併せた2025年度の新事業粗利益へのインパクトは20億円以上となる見込み

2 ローン等新規実行額の成長

当社主体のオリジネーション領域におけるローン等新規実行額が前年度比42%増加

3 債権品質向上による実質与信費用の低位安定化

投資用不動産の入居率の定期調査を起点に、お客さまと定期的にコミュニケーションを図り、管理会社や不動産会社、専門家等の協業企業との連携により、一歩踏み込んだご提案を実施

4 人的資本投資の拡大

「報酬関連施策」「働き方関連施策」の両方を充実させることによって、人財基盤、人的資本への投資をさらに強化することを背景に、2025年度の人件費の計画を15億円上方修正
(2023年4月からの取組みは、以下「人的資本投資の拡大」をご参照ください)

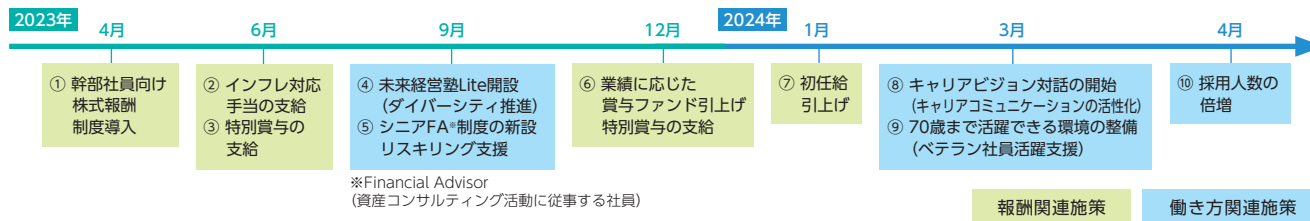
メインKPI	2025年度当初計画	2025年度修正計画
経常利益	130億円	170億円
当期純利益 (連結)	110億円	135億円
自己資本比率 (パーゼルⅢ最終化ベース)	実質10%以上	実質10%以上

サブKPI	2025年度当初計画	2025年度修正計画
新事業粗利益	160億円以上	190億円以上
経 費	325億円以内	340億円以内
実質与信費用 比率	15bps程度	10bps程度

注:「連結」の記載のない項目は、スルガ銀行(単体)の計数・指標

2 人的資本投資の拡大

報酬 と、社員のエンゲージメントや、将来のキャリアに寄与する **働き方** の観点から、新たに10の具体的な施策を実施しました。



3 PBR1倍超に向けた取組み

ROE水準は改善傾向にあります。市場が期待する水準には依然として届いていないとの課題認識を踏まえ、以下のとおりROE目標を設定しました。

ROE目標	2026年度以降(現中計による収益構造の再構築後)のROEは 平均的に6%以上 長期的には8%以上 を目指す
-------	---

Webサイトのご案内

スルガ銀行サイクリングプロジェクト

URL <https://www.surugabank.co.jp/cycling/>

自転車だからこそ発見できる地域の魅力

自治体・地元企業との協働による自転車での街めぐり企画、当社のサイクルステーションを使用したライドイベント等を紹介しております。



井伊部長の温泉グルメ探訪

URL <https://onsen.surugabank.co.jp/>

温泉を中心に地元のおすすめスポットをご紹介します

地域貢献活動の一環として、静岡県・神奈川県(主に伊豆や箱根)の地元エリアの温泉施設や飲食店、観光スポットを紹介しております。今後も続々と新しいレポートを追加していきます。



株式についてのご案内

決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

剰余金配当基準日

3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
その他、当社が定めた基準日

公告の方法

電子公告といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

連絡先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

日本証券代行株式会社 代理人部

☎ 0120-707-843

特別口座での手続用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単元株式数について

当社の単元株式数は、100株であります。

お知らせ

- (1) お届け内容(ご住所、配当金振込先など)の変更、ご相続、その他諸手続について
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱しております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (2) 配当金の受取について
配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ちください。また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社または特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金の受取について
株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせください。
- (4) 単元未満株式(100株未満の株式)の買取・買増請求について
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱しております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (5) 特別口座から一般口座への振替申請手続について
特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開設されている場合は不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行ってください。

詳しい内容、お問い合わせは

アクセスセンター



0120-50-8689 月～金曜日(祝日を除く)
9:00～17:00

ホームページ

<https://www.surugabank.co.jp>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下の緊急サポートセンターへご連絡ください。

スルガ銀行緊急サポートセンター TEL 055-987-8182 24時間365日(有人受付) 同時に最寄りの警察にもお届けください。

当社の概要 (2024年3月31日現在)

設立 本店 店舗数

1895年(明治28年)10月19日

静岡県沼津市通横町23番地

国内 107

静岡県内 53 神奈川県内 35 東京都内 3 北海道内 1 埼玉県内 1

千葉県内 1 愛知県内 1 大阪府内 1 福岡県内 1

インターネット支店 10

資本金 預金 貸出金

30,043百万円

32,504億円

20,667億円

営業店舗網は
こちら▶▶▶



株主さまアンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で
薄謝(QUOカードPay500円)を進呈いたします

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

①以下のURLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード



検索窓から

いいかぶ

検索



kabu@wjw.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り→

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com

スルガ銀行

〒410-8689 静岡県沼津市通横町23番地
TEL 055-962-0080
<https://www.surugabank.co.jp>

